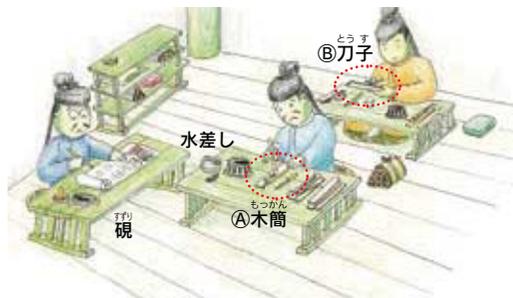


重要な施設は官道沿いに整備



- ①肥前国分寺跡 } 奈良時代、聖武天皇によって国ごとに国分寺・国分尼寺が建てられました。
- ②肥前国分尼寺跡
- ③官道跡(西海道) 官道とは都と地方を最短距離で結んだ道のこと。西海道は、大宰府から肥前国府につながっていました。

※地図上の赤い線が当時の官道です。



奈良・平安時代の役所の仕事風景(想像図)

- ①紙は貴重品で、重要書類以外は木簡(木の札に文字を書いたもの)を用いていました。
- ②書き損じは刀子と呼ばれる小刀で薄く削りました。

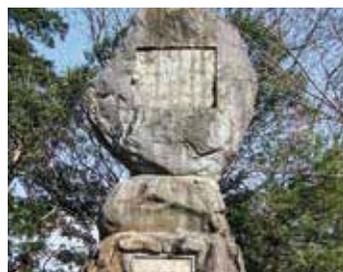
(佐賀市教育委員会提供資料の一部を改変 原画: 松本隆昌氏)

『肥前国風土記』と『万葉集』に記された佐賀の姿



日の隈山

古代には、敵の侵入などを知らせる通信手段として、のろしを上げて合図をおくる烽火が各地に整備されました。『肥前国風土記』には、烽火が20カ所と記されており、その一つが日の隈山(神埼市)と考えられています。



杵島山と歌垣

『肥前国風土記』に、杵島山で「歌垣」が行われていたことが記されています。杵島山は、この地域の若者たちが集まって、歌い踊る社交の場でした。



神集島

唐津湾の入り口に浮かぶか神集島は、風待ちの港でした。大陸に向かう船は、この島に立ち寄り、船出に適した風を待ってから玄界灘に出ました。島には7基の歌碑があります。



(唐津観光協会 提供)

見どころスポット

基肄城跡

基肄城跡には、歩いて史跡めぐりを楽しめるコースが整備され、山頂西側には草スキー場もあります。

肥前国庁跡資料館

住所: 佐賀市大和町久井 2754
電話: 0952-62-7441
開館: 9時～16時30分
休館: 毎週月曜日(ただし当日が祝日のときは火曜日)
祝日の翌日(ただし当日が土曜日・日曜日のときは休館しません)
12月29日～1月3日
料金: 無料



万葉の里公園

『万葉集』に収録された肥前国に関する歌の舞台は、ほとんどが唐津地方です。この地は朝鮮半島や中国大陸に近く、国防の最前線でもあったため、大宰府の長官だった大伴旅人は、軍事視察の目的もあってここを訪れ、その際、和歌を詠みました。

見どころスポット

万葉の里公園

住所: 唐津市浜玉町浜崎 1901-389
電話: 0955-72-9250
(唐津市まちづくり課公園係)



調べてみよう!

『肥前国風土記』には、どんなことが書かれているんだろう?

